

安平旧市街めぐり

安平

台湾の歴史は、安平が発祥の地
台湾の物語りは、安平が始まり

台湾の名前の由来は、安平(大員)です
台湾第一城-ゼーランドディア城(安平古堡)
台湾第一鎮-ゼーランドディア市街地(安平旧市街)
台湾第一国際貿易港(大員港)
台湾第一洋行(徳記洋行)

安平旧市街めぐり 無料ガイド

毎週土、日、及び祝・祭日に予約可
集合場所：安平ツリーハウス 正面入り口 (台南市安平区古堡街108号)
お申し込み：「台南旅行ネット」にてご予約。電話での申し込みも：旅行サービス科 06-3901175

台南市政府観光旅遊局

民治市政センター(局本部) 06-6353226
永華市政センター(旅行サービス科) 06-3901175



台南旅行口コミサイト



台南の旅行アプリ



台南のホテル検索サイト

旅行についてのお問い合わせ

安平観光案内所 06-2281382
台南駅観光案内所 06-2290082
台湾高铁台南駅観光案内所 06-6008338
台南空港観光案内所 06-3359209
交通部観光局トラベルセンター 0800-011765



24時間の旅行情報
オンラインサービス

道中グルメ

陳安社燻口ー

安平路786号
TEL:06-2229661
営業時間:10:00~21:00

周氏エビロー

安平路408-2号(本店)
TEL:06-2801304
営業時間:10:00~22:00

得意エビせんべい

安平路123号
TEL:06-2205858
営業時間:
月曜~金曜10:00~19:00
土曜~日曜10:00~20:00

安平貴妃美食文化館

延平街93号
TEL:06-2229674
営業時間:
月曜~金曜11:00~19:00
土曜~日曜11:00~20:00

瑞珍社燻入りオムレツ

效忠街79号
TEL:06-2285024
営業時間:
月曜~金曜10:00~18:30
土曜~日曜08:00~20:30

王氏魚の皮

安平路612号
TEL:06-2288095
営業時間:04:00~14:00

銘峰エビせんべい

安平路742号
TEL:06-2287807
営業時間:09:00~21:00

西井村煮物

安平路418号
TEL:06-2289619
営業時間:
月曜~金曜10:30~21:00
土曜~日曜10:00~21:30

熱富バーカリー

安平路133号
TEL:06-2243729
営業時間:08:00~23:00

蟹料理エビせんべい

安北路147-6号
TEL:06-2293968
営業時間:
月曜~金曜10:00~16:00
土曜~日曜09:30~18:00

吉利号カラスミ

安平路500巷12号
TEL:06-2289709
営業時間:10:00~20:30

辛村煮煮物

平生路38-1号
TEL:06-2213341
営業時間:09:30~売り切りにつき閉店
(定休日:月曜)

林永泰興砂糖漬け

ドライフルーツ
延平街84号
EL:06-2259041
営業時間:11:30~20:00
(定休日:水曜)

番王伯砂糖漬け

ドライフルーツ
安平路416号
TEL:06-3583688
営業時間:10:00~22:00

李正合興砂糖漬け

ドライフルーツ
古堡街47号
TEL:06-2268330
営業時間:09:30~21:00

依蕾特プリン

安平路422号(販売店)
TEL:06-2260919
営業時間:
EL:06-2259041
月曜~金曜10:30~21:30
土曜~日曜10:00~21:30

同記豆乳プリン

安北路433号
TEL:06-3915385
営業時間:08:00~23:00

章成水餃クラッカー

安平路518号
TEL:06-5956688
営業時間:10:00~21:00

茂記黒豆乳プリン

民権路四段851号(本店)
TEL:06-2283718
営業時間:
金曜12:30~18:00
土曜~日曜11:00~18:00

椿之味ヨクイニン

(デザート)
安平路372号
TEL:06-3585107
営業時間:09:30~21:30

安平周氏豆乳プリン、

緑豆スープ(デザート)
安平路137号
TEL:06-2238773
営業時間:10:00~21:00

おすすめの観光スポット

★ ミシュランレベルの観光スポット



1 安平ツリーハウス 1★

古堡街108号
見学時間/08:30am~17:30pm 入場料/大人50元 小人25元
約19世紀に建てられ、日本時代に「徳記洋行」とともに「大日本塩業株式会社」に管理されましたが、その後、長年に放置されたまま、木が大きく成長しすぎて、最終的に「建物の壁は木の幹となって、木の葉が建物の瓦になった」という素晴らしい光景になりました。

8 安平小砲台 1安平路と湖内二街の交差点 見学時間/全日可

清朝道光20年(1840年)、中・英アヘン戦争が起こり、台湾の防衛を強化させるため、安平港にて砲台4基が新設され、安平小砲台も、その一つです。(もう1基は、四草砲台です)。



9 安平開台天后宮 1

国勝路33号 見学時間/06:00am~22:00pm
台湾では、媽祖と開台聖王鄭成功は、主な信仰対象になります。開館が動ける仏像、石の將軍及び戦争中に299回鳴り続ける「響文」による災いの回避などの伝説は、一見の価値があります。



17 安平古堡 1国勝路82号 ★

見学時間/8:30時~17:30時 入場料/大人50元 小人25元

一級古蹟。台湾に最初の洋風のお城、旧称「台湾城」または「紅毛城」で、終戦後、「安平古堡」に改められました。お城の遺跡、レンガ作りの台、陳列館、展望タワーと城壁遺跡公園などが見事に保存され、その素晴らしい景色を我々に見せてくれました。

安平周辺



金城レージャー埠頭

2000年に国家卓越建築賞と園治賞の表彰を受けました。ここから、海を眺めながら、レジャーを行い、周辺の歩道に散歩することは、最高の楽しみです。



2 徳記洋行 1古堡街108号 ★

三級古蹟。最初にはイギリスの商社が設立した会社で、安平にて貿易を行いました。全盛期には、東興、怡記、和記及び味記に合わせ、「安平五大洋行」と呼ばれました。1979年に「台湾開拓資料人形館」に改められました。



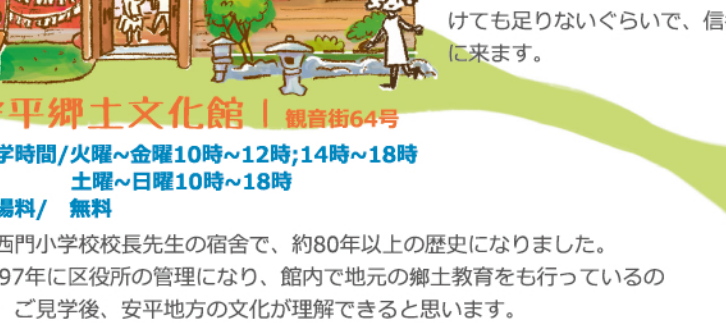
7 王鶏屎洋館 1国勝路35巷2号

見学時間/私有地のため、外観のみ見学可
王雞屎氏は、日本塩業株式会社の運搬及び梱包作業の仕事を引き受けたため、大金持ちになりました。この洋風建築は、当初に安平最高の建物ですが、終戦直前、爆撃の標的にならないように、わざと建物全体にアスファルトで黒く塗りつぶしました。



10 安平郷土文化館 1観音街64号

見学時間/火曜~金曜10時~12時/14時~18時
土曜~日曜10時~18時
入場料/ 無料
旧西門小学校校長先生の宿舎で、約80年以上の歴史になりました。1997年に区役所の管理になり、館内で地元の郷土教育も行っているの、ご見学後、安平地方の文化が理解できると思います。



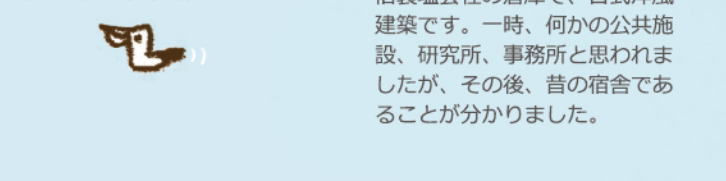
ゼーランドディア城博物館 1国勝路82号

旧安平税務司の公館でした。17世紀にゼーランドディア城の生活ぶりと商業活動を再現するため、館内に最新の視聴設備を設置し、昔の風景を再現します。金より強固なお城、王城物語と細やかな物語りをテーマに、来場者に昔の雰囲気をお楽しみいただけます。



杜蠟の釜文化館

市定古蹟で、台湾に唯一残された杜蠟の釜から杜蠟の灰を作る釜です。館内には、杜蠟文化館、杜蠟の生態広場を設けており、地元では、庶民生活に関わるものとして、所蔵が最も充実した博物館です。



3 朱玖瑩記念館 1古堡街徳記洋行の隣

朱玖瑩様は、1898年に生まれ、財政部塩務総局局長に歴任、習字に最も規範的な字と言われた顔真卿書法の名書家です。安平での故居は、元台湾塩業の社宅で、近年に修復された後、一般公開になりました。



西龍殿 1国勝路35巷12号

西龍殿は、清朝乾隆3年(1738年)に建てられ、主に「池府千歳」が祀られ、今まで何回か修復されましたが、廟の奥にある城壁は、一見普通のレンガ造りに見えますが、実は、17世紀にオランダ人が建てられたゼーランドディア城の外城壁です。



観音亭 1観音街33号

清朝道光6年(1826年)、安平地方の漁民が中国から観音菩薩の分霊を迎えた後に建てられ、真心で神様に願えば、必ず叶うということもあって、信者が多いです。年に三回、観音様の生誕祝いの時、100テーブル以上の宴席を設けても足りないぐらいで、信者が祝いに来ます。



安平旧市街 1延平街、效忠街、中興街

十七世紀初期、オランダ人が安平にゼーランドディア城を建て、その周辺に市街地をも建設し、安平における300年以上の歴史の幕開けとなり、台湾最初の城下町-延平街も誕生しました。オランダ人は、城東で南から北へ、現在の延平街、效忠街、中興街に3本のメインストリートを囲繞状に建設し、台湾に最初の都市形態が形成しました。



三信組合安平支社 1古堡街62号

旧ドイツ領事の官邸でしたが、のちにイギリス商人のヒストン様に買われ、別名「ヒストン邸」でした。屋根には、当初に建てられたドイツ皇室の十字マークが残されています。ここは、安平の愛情物語りの主人公である金お嬢さんのお母さんと父親のオランダ人医師がデートする場所とも言われています。



札哈木原住民公園

「札哈木」とは、原住民の鄒語で「府城」の意味です。公園の中には、あらゆるところに鮮やかな記号と建物の飾り物がいっぱいで、原住民の文化特色が感じられる公園です。



4 台湾塩業の社宅 1安北路233巷1弄12号

見学時間/09:00~17:00 入場料/無料
安平での製塩歴史は、17世紀まで遡ることができます。ここは、日本時代における台湾塩業の管理職の社宅で、庭付きの住宅です。長年に不法占有と放置されたまま、本体の木造構造は、かなり損害されましたが、使用可能な柱、扉、窓と土壁などを再利用しながら、できる限り元の状態に復元させました。2009年に新しい姿で一般公開になりました。



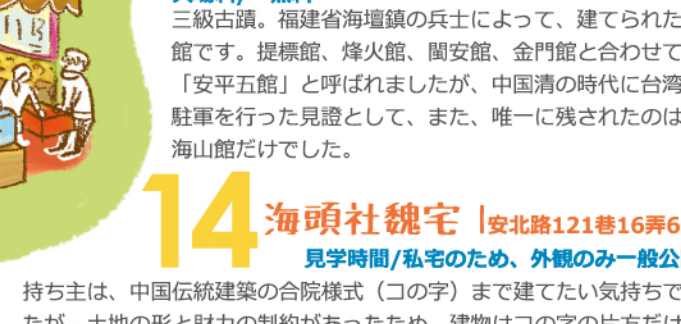
5 東興洋行 1安北路233巷3号

見学時間/08:00am~21:00pm
三級古蹟。ドイツ商社が設立した洋行で、昔には、樟脳、砂糖、アヘンなどを取り扱い、船舶運送のビジネスを行った会社です。現在、レストランとして経営するとともに、ドイツ文化歴史、昔に取扱った商品の展示館になります。



海山館 1效忠街52巷7号

見学時間/火曜~金曜10時~18時
土曜~日曜10時~19時 (月曜日: 休館日)
入場料/ 無料
三級古蹟。福建省海壇鎮の兵士によって、建てられた廟館です。提標館、烽火館、閩安館、金門館と合わせて、「安平五館」と呼ばれましたが、中国清の時代に台湾で駐軍を行った見証として、また、唯一に残されたのは、海山館だけです。



14 海頭社魏宅 1安北路121巷16弄6号

見学時間/私宅のため、外観のみ一般公開

持ち主は、中国伝統建築の合院様式(コノ字)まで建てたい気持でしたが、土地の形と財力の制約があったため、建物はコノ字の片方だけ建てられ、L型(單伸手とい)になりました。海頭社魏宅は、安平で唯一に残された「單伸手」建築の代表となり、建築面積は僅か16坪です。



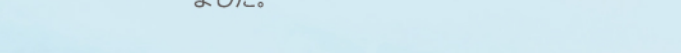
安平港国家歴史風景区

300年以上の土砂沈積により、海が陸化されました。府城に発祥の地である安平と新しい観光スポットが一体になり、ここは奥深い歴史と文化の旅の地です。



億載金城

一級古蹟で、別称「二鯤砲台」です。台湾に最初の洋式砲台で、安平の周辺海域を防衛するための基地です。



林默娘公園

林默娘(媽祖)の像は、高さ18メートル、御影石で彫刻された作品です。夕日と夜景は、すでに有名な景色となり、台南市の新しいランドマークにもなりました。

